

節電所

2015年10月31日(土)

13:45 ~ 17:00

在日本韓国 YMCA 青少年センター

資料代 500 円 (主催・協力団体会員)、1,000 円 (一般)

東京電力・福島第一原発事故から4年、私たちはエネルギーについて様々なことを知りました。エネルギーを大切に使うには省エネ・節電が不可欠ですが、どうしても「我慢する」というマイナスイメージが頭に浮かびます。また、効果が見えにくいため、取り組みは広がっていません。

省エネ・節電によってエネルギーが余ることは、エネルギーを「生み出す」ことと同じです。日本には、まだまだ宝の山が眠っています。近年、発電所ならぬ「節電所」と位置づけた取り組みが行われています。そうした戦略的省エネを進めるため、節電所フォーラムを開催します。

●基調講演●

「節電所とは何か？」



神戸大学大学院経済学研究科修了。経済学博士。大学院在学中にドイツ・ホーエンハイム大学へ留学し、ドイツの環境政策について学ぶ。2002年より京都産業大学経済学部講師、2005年より同大学准教授。2011年より関西学院大学総合政学部准教授、現在同教授。

●活動報告●

「市民共同節電所の取り組み」



事務局長。

福井県民生協の環境負荷低減活動担当理事として省資源・省エネ対策に取り組み、その後、銀行、土木会社、ビル総合管理会社等の環境活動をコンサルティング。現在、エコプランふくい事務局長、福井県地球温暖化防止活動推進センター

●主催：気候ネットワーク、FoE Japan、足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

※本イベントは、平成27年度独②と政法と環境再①保全機構地球環境基⑥の助成を受けて開催します。



気候をまもる。未来をつくる。
Climate Action Now!

●プログラム●

ごあいさつ&趣旨説明

◎基調講演「節電所とはなにか」

朴勝俊さん(関西学院大学教授)

◎活動報告「市民共同節電所の取り組み」

吉川守秋さん(NPO法人エコプランふくい事務局長)

質疑応答

休憩

◎パネルディスカッション「節電所をひろげるために」

コーディネーター 朴勝俊さん(関西学院大学教授)

パネリスト

- ・「商店街」吉川守秋さん(NPO 法人エコプランふくい事務局長)
- ・「自治体」西村仁志さん(愛知県新城市 地域エネルギー推進課長)
- ・「学校」吉村 茂さん(奈良県生駒市教育委員会 教育指導課長)
- ・「事業所」(要請中)
- ・「家庭」山崎求博さん(NPO 法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ事務局長)

◎地域団体からのアピール

◎まとめ・今後について・閉会



●会場案内

在日本韓国 YMCA アジア青少年センター

101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5

TEL:03-3233-0611

JR 水道橋駅徒歩 6 分、御茶ノ水駅徒歩 9 分

地下鉄神保町駅徒歩 7 分

●お問い合わせ

* 気候ネットワーク東京事務所

TEL:03-3263-9210 / FAX:03-3263-9463

tokyo@kiconet.org (桃井)

* FoE Japan

TEL:03-6909-5983 / FAX:03-6909-5986

yoshida@foejapan.org (吉田)

* 足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

edo@focnet.org (山崎)

申し込み専用フォーム

スマートフォン、携帯からの申し込み

、こちらからどうぞ。



●協力団体

NPO 法人エコメッセ、町田電力、NPO 法人川崎フューチャー・ネットワーク、NPO 法人世田谷 みんなのエネルギー、ミドリムシ不動産、株式会社生活クラブエナジー

※協力団体募集中! ※

賛同協力金 5,000 円で、協力団体会員は参加費が 1,000 円から 500 円になり、当日配布資料に団体紹介を掲載いたします。第二次締め切り：9 月末日。詳細お問い合わせください。

